

第133回あわらし市議会定例会一般質問通告一覧

令和8年8月28日

(通 告 順)

〈9月8日 1日目〉

1 見澤 勇三 議員【分割質問分割答弁】

① 身寄りのない高齢者が安心して暮らせる見守り体制について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 一人暮らし高齢者の増加を見据えた見守り体制の強化と今後の行政課題について
- ・ 「どこシル伝言板」や「緊急通報体制等整備事業」などの利用状況や効果検証、今後の改善方策について
- ・ 地域ぐるみの見守りネットワークの構築に向け、官民連携による見守り体制の強化を今後どのように進めていくのか

② 終活支援と緊急連絡先・医療情報等の登録制度について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 終活支援の相談体制と、近年の相談内容や相談者の傾向について
- ・ エンディングノートをはじめとする終活支援の市民への浸透状況について
- ・ 人生最終段階において本人の意思を尊重するため、「人生会議（ACP）」の普及啓発や相談支援に今後どのように取り組んでいくのか
- ・ 高齢者への相談支援体制と、緊急連絡先や医療情報を事前登録する制度の導入について

③ 成年後見制度の現状と今後の取り組みについて

(答弁を求める者 市長)

- ・ 成年後見制度の相談件数や利用状況と、費用負担に対する本市の考え方について
- ・ 市民後見人の養成と担い手確保に向けた今後の取組について
- ・ 成年後見制度の利用促進に向けた周知・啓発と相談支援体制の充実について
- ・ 成年後見制度の見直しを踏まえ、市の認識と今後の対応について

2 青柳 篤始 議員【一問一答】

① 市民の困りごとを起点とした行政改革について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 市民の困りごとを起点とした行政サービスの考え方と、市政運営・組織づくりについて
- ・ ライフイベントを起点とした行政サービスと市民負担の軽減について
- ・ 行政内部の情報連携と業務の流れの現状および課題について
- ・ 業務全体の流れを見直す業務改革（BPR）の考え方と取組について
- ・ AIを活用できる人材育成と、データや根拠に基づく政策立案（EBPM）の推進について

3 堀田 あけみ 議員【分割質問分割答弁】

① 市民の安全を守るためのクマ、鳥獣害対策の充実について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 緊急銃猟体制の充実について
- ・ クマ出没情報の発信方法について
- ・ 市街地における鳥獣対応について

4 野沢 裕希 議員【一問一答】

① 自助・共助・公助による地域防災力の強化について

(答弁を求める者 市長)

近年、地震や豪雨などの自然災害が全国各地で相次いでいる。大規模災害時において、自助・共助・公助がそれぞれ機能する体制を平時から整えておくことが重要である。そこで、本市の防災備蓄、家庭備蓄、避難所運営、地域訓練、車中泊避難等について伺う。

- ・ 防災備蓄品の想定避難者数・期間及び市備蓄・家庭備蓄の役割分担について
- ・ 家庭備蓄の実態把握と家庭での備えを促進する取組について
- ・ 家庭備蓄が使用できない場合の対応及び夏季・冬季の避難生活対策について
- ・ 地域住民による避難所の開設・運営体制について
- ・ 地域単位の実践的な防災訓練の促進について
- ・ 車中泊避難場所の運営想定と平時からの周知について

② 光を生かした夜間景観と安心して過ごせる公共空間づくりについて

(答弁を求める者 市長)

あわら温泉街再整備では、三葉師のライトアップなど、専門家の知見を生かした光による空間づくりが進められている。一方、中学生議会では「道が暗い」との声も出されている。光を単に明るさを確保するためのものとして捉えるのではなく、安全性、景観、滞在性を高め、人が安心して過ごしたくなる公共空間をつくる視点から、あわら温泉街で取り入れている専門的な知見を、芦原温泉駅前公園や金津市街地等にも生かす可能性について伺う。

- ・ 「道が暗い」との声に対する受け止めと、夜間の安全性・照明環境に関する課題認識について
- ・ あわら温泉街再整備における光を生かした空間づくりの効果と評価について
- ・ 光を生かした公共空間づくりの芦原温泉駅前公園や金津市街地等への展開可能性について

③修学旅行等における引率教員の費用負担について （答弁を求める者 教育長）

修学旅行や校外学習等において、引率教員は児童生徒の安全管理、健康管理、生活指導、学習活動の支援等を公務として担っている。公務として必要となる経費について教員個人の負担が生じていないか実態を確認するとともに、県教育委員会の考え方や他自治体の状況も踏まえ、教員個人の負担に頼らない仕組みについて伺う。

- ・ 引率教員による施設入場料、拝観料、体験活動費等の自己負担の有無と実態把握について
- ・ 公務に必要な経費に係る公費負担等の検討について

5 北浦 博憲 議員【一問一答】

① 竹田川河川改修と農地排水について

（答弁を求める者 市長）

- ・ 県営竹田川河川改修事業の進捗状況と今後の見通しについて
- ・ 竹田川河川改修事業と湛水防除事業の協調について
- ・ 排水不良水田の対策について
- ・ 中小河川の洪水対策について
- ・ 農地周辺の水管理体制の再構築について

② 農業用ため池の役割について

（答弁を求める者 市長）

- ・ 農業用ため池が地域に果たす役割と重要性をどう認識しているか。
- ・ 農業用ため池の状況はどうなっているか。
（市内の農業用ため池の数、現在灌漑に使用されている農業用ため池・使用されていない農業用ため池の数、所有者と管理者）
- ・ 防災重点農業用ため池に、市はどのような対応をしているか。
- ・ 農業用ため池の維持管理や改修に、市はどのような支援を行っているか。
- ・ 渇水期の水源の安定確保に向けた地元の取組と、市の対応はどうか。

6 関山 耕人 議員【一問一答】

① 観光振興に関する人材育成と計画改善について

（答弁を求める者 市長）

- ・ 職員が学習できる環境について
- ・ 業務改善と業務としての学習時間の確保について
- ・ 社会実験の検証
- ・ 事業の検証
- ・ 計画の改善

< 9月9日 2日目 >

7 中嶋 瑞希 議員【一問一答】

① 教育振興基本計画の実効性と児童生徒による生成 AI 活用について

(答弁を求める者 教育長)

- ・ 教育振興基本計画における施策と成果指標の対応関係について
- ・ 児童生徒による生成 AI 活用の位置付けと次期計画への反映について

② 人口減少時代における持続可能な地域運営と伴走型地域支援体制について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 小規模多機能自治の検討状況について
 - ・ 地域の実情に応じた集落支援員の活用及び農村 RMO 等の検討について
-

8 南 良一 議員【一問一答】

① 様々な世代や職域からの声の聴取について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 第1回庁内の方対象のタウンミーティング並びに7月25日に行われた30歳以下の方タウンミーティングの状況と、そこから見えてきたものについて
- ・ 様々な世代や職域の方を集めたタウンミーティングを行う今後の予定について
- ・ あわら市を包括的に考えていく市民探究提案型タウンミーティングの実施について

② 市民の危機管理への行政のかかわり方について

(答弁を求める者 市長)

- ・ あわら市の防災体制の現状について
 - ・ 避難所の整備について喫緊の課題だと思われるが、今後の方針について
 - ・ 各区の防災整備体制について、その防災意識や体制、そして区同士の連携についてどのように考えているか
-

9 中垣内 えり香 議員【一問一答】

① 小中学校におけるタブレット端末の適正な活用と、児童・生徒の健康および持続可能な学習環境の確保について （答弁を求める者 市長、教育長）

- ・健康への配慮と利用基準（連続使用時間・姿勢）の徹底について
- ・児童生徒の視力低下・姿勢悪化の現状把握と予防の取組について
- ・デジタルと「紙・手書き学習」の適切なバランスについて
- ・学習に不要なサイト・アプリへのアクセス制限について
- ・家庭における利用ルールと保護者への啓発連携について
- ・教員の負担軽減と ICT 支援員の配置体制について
- ・第 2 期端末更新に伴う財政負担と今後の維持管理計画について

② HPV（子宮頸がん）ワクチンの情報提供と子宮頸がん検診について

（答弁を求める者 市長）

- ・HPV（子宮頸がん）の接種率と子宮頸がん検診の受診率について
- ・一度、積極的勧奨を差し控えた理由について
- ・再開後、ワクチンや安全性の評価は何か変わったのか
- ・現在も苦しんでいる方々と訴訟について
- ・市民の自己決定権について
- ・子宮頸がん検診をもっと重視すべきではないか

10 島田 俊哉 議員【分割質問分割答弁】

① 長期休業期間中の放課後子どもクラブにおける昼食提供について

（答弁を求める者 市長）

- ・あわら市では、小中学校の学校給食無償化を段階的に実現するなど、食の面から子育て支援の充実に取り組んできた。一方、夏休み、冬休み及び春休み等の長期休業期間中に放課後子どもクラブを利用する児童の昼食準備は、就労する保護者にとって負担となっている状況がある。このため、全ての児童への一律・無償提供ではなく、希望する児童を対象に、保護者が一定の費用を負担する有料・選択制の昼食提供を検討すべきと考える。そこで、市長公約、あわら市第 3 次総合振興計画及びあわら市こども・若者計画との関係をどのように捉えているか伺う。また、長期休業期間中の放課後児童クラブにおける昼食提供に関する国の通知をどのように受け止めているか、国及び福井県の支援制度の今後の活用方針を伺う。さらに、令和 8 年夏休みに受託事業者が芦原子どもクラブで実施した昼食提供について、利用実績、保護者の評価、支援員の業務負担及び安全面等の効果と課題をどのように検証し、その結果を取組の継続や今後の運営委託に生かす考えか伺う。直営の放課後子どもクラブについては、希望する保護者と弁当事業者が直接契約し、オンライン等で直接注文・決済する方式を、会計、契約、法務及びDX推進の観点から庁内横断的に検討するとともに、令和 9 年夏休みに一部のクラブでモデル実施することについて、市長の考えを伺う。